

教科名	美術	週時間数	1	学年	2
使用教科書及び副教材等	美術2・3（光村図書） 美術資料（秀学社），レタリング字典（秀学社）				
指導の重点	「学ぶ意欲」 「表現力」 「思考力」				
教科のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく美術の活動に取り組み、美術を愛好する心情を培い心豊かな生活を創造していく「主体的に学習に取り組む態度」を育てる。 ・感性や創造力を高め、「豊かに発想し構想する能力」や、対象を深く観察する力、基礎的技能を身に付け、創意工夫し美しく「表現する能力」を育てる。 ・鑑賞については、作者の心情や意図、「表現の工夫」を感じとる能力を養いたい。 				
授業の進め方	授業は、作品の制作だけでなく、美術資料などで知識や技能を幅広く身に付けられるようにする。また、自己評価シート等を使って授業への取り組みを振り返り、次の制作に活かせるようにする。鑑賞では、教科書・美術資料・生徒作品等を鑑賞し、ワークシートを使って自分の感想・意見を述べられるようにしていく。				
定期考査	出題方針	一年間、授業中に学習、制作した内容を中心に出題する。			
	範囲 (予定)	1学期中間			
		1学期期末	1学期の学習内容からの出題、実技問題、鑑賞問題		
		2学期中間			
		2学期期末	2学期の学習内容からの出題、実技問題、鑑賞問題		
学年末	一年間の学習内容からの出題、実技問題、鑑賞問題				
学習方法 (アドバイス等)	授業に意欲的、積極的に取り組む。 ・チャイム着席、作業の準備、後かたづけがしっかりできるようにする。 ・提出物は期日を守って必ず提出する。 ・私語は慎み、根気よく制作に集中する。 ・各自の制作に必要な資料や材料を準備し、制作に生かすことができるようにする。				

	観 点	評 価 規 準	評 価 方 法
評 価	① 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や身近なものを深く観察し、形や色彩の特徴や美しさをとらえて表現することができているか ・表現の基礎的技法を理解し、制作することができているか・自分の表現意図にあった材料・用具を生かして創意工夫し、制作することができているか ・日本及び諸外国の文化遺産や美術作品など、美しさや特色、相違点と共通点、歴史などを理解することができているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子 ・準備、後片付けの状況 ・作品、ワークシート等の内容や提出状況 ・テスト
	② 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な角度から発想し、構想を練ることができているか ・制作過程において、修正、検討しながら、自分らしい表現を心がけることができているか・作品の良さや美しさを感じ、味わうことができているか ・作者の心情や意図、表現の工夫を感じ取るができているか ・美術と社会や生活との関わりについて、気づくことができているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子 ・作品、ワークシート等の内容 ・テスト
	③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に関心を持ち、意欲的、積極的に表現や鑑賞の創造活動に取り組むことができているか。 ・資料や材料・用具の準備、後片付けができているか ・作品やワークシート等、提出期限を守って提出することができているか ・美術や文化についての知識、基礎的な技法について理解することができているか。 ・作品の意図を発表したり、他の生徒作品や発表に関心を持つことができているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子 ・作品の内容 ・授業の様子 ・ワークシートの内容 ・テスト

年間授業計画書

学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
1	4	構想画	・立方体を描く	7	・立方体を平面上に表現すると辺と辺の関係においてどのような現象が生じるのかについて、その法則性を理解する。
	5	鑑賞	・ムンク「叫び」	1	・ムンク的心情、意図、作品のメッセージを感じ取る ・修復家の仕事について知る (職場体験学習と関連して)
	6	構想画	「透視図法を用いた構想 ・一点透視図法をマスターする ・二点透視図法をマスターする	27	・テーマの決定と資料収集 ・透視図法の原理を理解し、自由自在に操れる力を身につける。 ・自分のイメージにあった画面構成ができる
2	7		・二点透視図法をマスターする		・自分のイメージにあった画面構成ができる
	9				・技法や材料などを工夫して、制作することができる
	10		・透視図法を使って、感性豊かな作品を制作する		・自分の作品について、心情や意図、創意工夫について発表する
	11		・ワークシートの記入 ・作品発表及び鑑賞		・生徒作品に関心を持ち、多様な表現のよさや美しさ、楽しさを味わう ・対象をじっくり観察し、形の成り立ちを理解する
	12		「スクラッチボードへのイラスト画」の制作		・作品化する題材を選定する
3	1		・下絵をボードに移す		・カーボン紙を適切に用いる
	2		・ニードルでボードをスクラッチする		・明るいところからスクラッチする
	3		・ワークシートの記入 ・作品発表及び鑑賞		・生徒作品に関心を持ち、多様な表現のよさや美しさ、楽しさを味わう